

●今回のグループワークの目的

- ・認定調査の際の声掛けの仕方や工夫点など、日頃は見聞きできない他の認定調査員の意見を聞いて、ご自分の調査員としての接遇を振り返る機会にする
- ・認定調査員の聞き取り方法や声掛け等がある程度マニュアル化することで、調査時のトラブルやリスクをなるべく少なくする

●ルール

- ・たくさんの意見を聞くのが目的なので、それぞれの項目ごとに各自一つ以上意見を出すようにしましょう。
- ・前向きに検討できるように、肯定的に話し合いを進めましょう。
- ・最終的にグループの意見として良いと思われる対応や言葉等をまとめてください。

●役割分担（自己紹介を含めて3分）

司会：	記録：	発表：
-----	-----	-----

グループ名

◆検討1【アポイント時】（5分）

- ・アポイントの際、どのような工夫をしていますか？また、失敗談等ありますか？

☆それぞれの意見☆ (良かったこと悪かったこと両方について)	☆より良いグループの意見☆こんな説明ならスムーズ

◆検討2【アポイント時】(5分)

・家族等立会いの際に、本人とは別に聞き取りが必要かの確認はどうしていますか？	
☆それぞれの意見☆ (自分はどうしている)	☆より良いグループの意見☆

◆検討3【認定調査当日】(5分)

・どのような声掛けで始めたらいいでしょう？失敗談やスムーズに行く声掛け等がありますか？	
☆それぞれの意見☆ (良かったこと悪かったこと両方について)	☆より良いグループの意見☆こんな説明ならスムーズ

◆検討4【認定調査当日】(10分)

・3群や4群の認知機能やBPSD関連の項目をストレートに聞くことはどうでしょう?どんな言葉で確認したらよいでしょう?	
☆それぞれの意見☆	☆より良いグループの意見☆
<ul style="list-style-type: none"> ・独居の際 ・家族等立会いの際 	

◆検討5【認定調査当日】(全体で20分)

・聞きにくい項目で多くの意見が上がった項目について、どのような言葉かけだとスムーズでしょうか?		
項目	☆それぞれの意見☆	☆より良いグループの意見☆
1-3・1-4 寝返り・起き上がり	・確認動作をすることが基本。臨機応変に対応するにはどうするか?	
2-5・2-6 排尿・排泄	・独居の場合	

2-5・2-6 排尿・排泄	・介護者が異性の場合 ・家族関係が影響している場合	
3群	・短期記憶の確認をマニュアル化した方がいいか？（他市町村では3品を限定して、すべての人に必ず実施しているところもあるので会津若松市でもその方がいい？確認しやすい？）	
4群	・項目や頻度の尋ね方 ・項目には該当しない「困っている状況」をどう整理するか、また、その場での伝え方	
5-2 金銭管理	・声掛けの工夫点	

<p>5-2 金銭管理</p>	<p>・家族関係が良好ではない場合</p>	
---------------------	-----------------------	--

◆検討6【認定調査当日】(5分)

<p>・対象者や家族等が不快な気持ちになる言葉 (NGワード)</p>	
<p>☆それぞれの意見☆</p>	<p>☆より良いグループの意見☆</p>

◆検討7【認定調査当日】(5分)

<p>・対象者や家族が気持ちよく調査を受けられそうな言葉 (Happyワード)</p>	
<p>☆それぞれの意見☆</p>	<p>☆より良いグループの意見☆</p>

◆検討8【認定調査当日】(10分)

・調査時、ケアマネだからこそ気になる点が・・・良かれと思って助言等することはある？	・調査時どのような声掛けが、調査員としてケアマネとしてベターでしょう？
☆それぞれの意見☆どのような内容を助言等したか	
・では、担当ケアマネの立場で考えたら、助言されて良かった？トラブルになった？	
☆それぞれの意見☆どのような内容を助言等したか	

◆まとめ（10分）

• 日程調整の電話をします。こんな言葉ですすすめます！

• ご自宅に伺います。最初のあいさつは？調査についての説明はこのようにします！

• 調査が始まりました。言葉かけや進め方、このようにします！

• ご本人の調査が終了しました。ご本人のあいさつやご家族への対応はこのようにします！